

# <新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（2025年度第2回）>

## 多様なリユース電池を活用したEV 用急速充電システムの研究開発

### 1. 事業概要（蓄電池利用促進分野、フェーズA）

〔内容〕

定格の異なる複数電源の使い分けを可能とする電力パケット伝送技術を応用して、特性の異なるバッテリーを接続したシステムで、EV充電に利用可能な大電力の電力伝送技術の確立とEV中古バッテリーを用いたエネルギーバッファへの適応を行う。

〔背景・経緯〕

EVの普及促進のためには充電器の整備が不可欠だが、充電インフラの整備には、利便性・導入コスト・電力安定性・持続可能性等、さまざまな課題が残る。

また、EVバッテリーは容量が70%以下に減少すると交換が必要となり、産業廃棄物として処分される。

〔狙い、波及効果〕

単一種類に限らず多様なEV中古バッテリーを使用可能とすることにより、充電システムのエネルギー源を安価で安定的に確保し、普及拡大することを目指す。

〔事業化〕

まずはEV中古バッテリーをエネルギーバッファとして用いたEV用急速充電器の製造販売。多様なDC電源を接続することが可能であることを利用してEV中古バッテリーのみでなく再生可能エネルギーを接続したシステムへの拡張。

### 2. 株式会社ピューズ

|        |   |
|--------|---|
| 本社所在地  | 神奈川県横浜市   |
| 設立／資本金 | 1999年／1,000万円   |
| 従業員数   | 65名（西暦2026年3月現在）  |
| 事業内容   | 主として電気自動車を含む新エネルギー車両用の部品の開発や製造、試作車両の組立や試験等を主な業務とする。また加えて、蓄電装置や充電装置などの開発・製造なども行う |

### 3. その他機関

**機関名：学校法人永守学園 京都先端科学大学**

・電力パケット伝送技術を共同研究